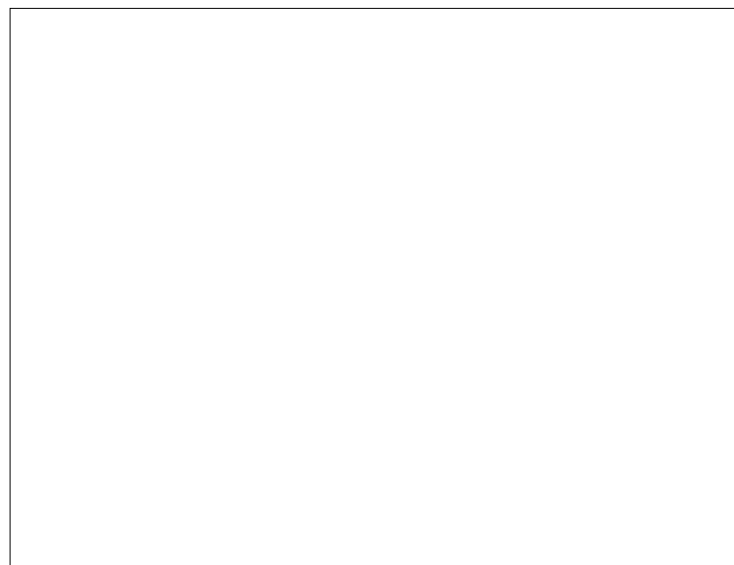


あなたの声をお聞かせください。身近な出来事や町に関する要望・意見など何でも結構です。投稿いただいた中から広報はがへ掲載させていただきます。その際の添削については、ご了承ください。

Multiple horizontal lines for writing responses.

イラストも募集しています。広報はがのカットとして掲載させていただきますので、濃くはっきりとお書きください。



●この町に住んで18年  
稲毛田 かんじやでいくよさん  
私たちの町、緑町は聞くこと昭和56年に芳賀総合運動場東側へ誕生しました。私もこの町に住んで18年になります。第二の故郷として日常生活をエンジョイしています。緑町誕生から継続されている素晴らしい行事を紹介します。  
○防災と安全対策  
年に2回家族代表者が集まり、空き地や道路に伸びる草の刈り取りをして、安全できれいな町づくりを行っています。  
○環境と衛生対策  
年に12回、毎月1度生活排水路の清掃を関係者が集まり実行しきれいな環境づくりを行っています。

●お世話になっています  
長野県 息子の実家よりさん  
昨年12月に、息子一家が芳賀町に転居しました。先日、子どもたちの写真が載った広報はがをお土産に持って帰ってくれました。若いママは、見知らぬ土地で2人の幼い子どもを育て、さぞ大変だろうと遠いところより心配していました。何もしてやれずに心に引つかかっています。  
私たちの子育てしていた頃とは随分違って、今は何だか大変な時代のような気がします。少しずつ知り合っても、地域の子育て支援サークルにも出かけて行くようになり、気持ちの発散できるののこを聞いて少し安心しています。  
一生懸命子育てをやっているような社会になっていくように願っています。

●郡2連覇、芳賀中野球部  
西高橋 山城祐治さん  
第49回芳賀郡市地区少年野球大会で芳賀中が優勝しました。8月4日の決勝戦では、真岡東中を4対3で下し、2連覇達成。昨年の新人戦から4大会全て県大会に出場しました。  
芳賀中野球部44人のみんなが頑張りました。もっともっと、大きくはばだけ!!



### 食育 食べて元気!

「地産地消」とは、地域で生産された食材を、その地域で消費するということです。季節のサイクルの中で地元の旬の食材を食べることによって食の楽しみやおいしさも増すことでしょう。

芳賀町の学校給食には、地元で取れた農産物を多く利用しています。平成12年に、ふるさと意識の高揚と消費拡大につなげたいと地元産米を学校給食へ取り入れました。平成14年には地元農産物（ニンジン・じゃがいも・玉ねぎ）の3品目を増やし、徐々に商工会の物資納入組合と循環システム研究会（代表 手塚孝夫氏）、学校栄養職員、調理員の協力を得て利用品目を増やしてきました。現在、小学校においては農産物の約9割、中学校は約7割が地元のものを利用しています。

これらの野菜を使用することによって学校、生産者の学校給食への関心も少しずつ変わってきました。「顔の見える生産者からの農産物」としてランチルームや廊下には生産者の写真を掲示したり、生産

#### 給食は地元の野菜

者の皆さんを招き共に給食を味わったりすることで、子どもたちは食べ物に興味関心を持ち、給食のおいしさを感じているようです。

芳賀北小では、3年生が5月の総合的な学習の時間で「食の循環」について勉強しました。給食で出た残菜を農事組合法人ドンカメ（代表 小久保行雄氏）が回収し、堆肥にして地元生産者が施肥し、作った野菜を給食に出すというものです。トマトの生産者を見学後、トマトを1個ずつお土産にいただき、大切に持ち帰り給食でまるのまま食べたときはとてもおいしかったそうです。このように子どもたちは学校でも様々な体験を通し「食」を学んでいます。

そして、生産者は子どもたちに新鮮なものを、安心しておいしく食べさせたいと考え、よりいっそう農作業に力を入れています。

☎学校教育課学校教育係 【☎028(677)6024】